

謹賀新年

新年のごあいさつ



養父市議会議員 吉井 総

新年あけましておめでとうでございます。新しい年をご壮健で、希望をもって迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。

養父市議会を代表して新年のごあいさつを申し上げます。昨年10月に行われた役員改選により、議会の構成も変わりました。今年も気持ちを引き締め、市民の皆様への負託に応えるために日々努力していきます。

さて、国の行財政改革により全国の自治体が対応に苦慮していますが、特に過疎地域で財政力の弱い自治体は、危機的状況にあります。自治体の計画的な自助努力と国・県の対策や支援策が求められています。

また、景気回復の報道とは裏腹に、但馬や養父市を取り巻く環境は誠に厳しく、過疎化に加えて地域格差の拡大、三位一体改革による交付税の減額、医師不足による地域医療の弱体化の懸念等があります。地方に住む私達から見れば、地方の繁栄なくして日本の繁栄はないと考えます。現在、推進されている改革は、地

方が自己決定・自己責任の原則のもとで「真の自立」を確立し、個性や特色ある地方を築き上げる目的です。しかし、大きな面積に少ない人口が住む養父市では、これまで皆さんの要望に応えて行ってきた必要不可欠な事業やインフラ整備による起債が重くのしかかっています。

養父市では、行財政改革大綱に基づいて財政の健全化に向けた取り組みが進められていますが、将来持続可能なまちづくりのため、市民の参画のもとで、簡素で効率的な行政の確立に努力することが求められています。このためには、平成19年度における養父市の予算編成は一段と厳しいものが予想されますが、市民の皆様が現状を認識していただき、新しいまちづくりに向かって英知を結集しなければなりません。

昨年9月、北近畿豊岡自動車道「和田山八鹿道路」の起工式が行われました。完成後には、既存の道路と合わせて、観光客の増加や利便性などの向上が期待されます。また、市内への企業誘致にも明るい話題があります。今後も「元気で魅力ある養父市」をPRしていきます。

市民の皆様のご健康とご多幸を祈念して、新年のごあいさつとさせていただきます。